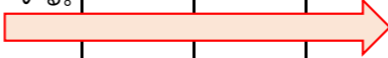


# ○名取市第六次長期総合計画 進捗状況

令和3年9月1日  
企画部政策企画課作成資料-1

<各項目の実績値の表記について>  
 ●2段書きの場合  
 上段 : 当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)  
 下段()書き: 当該年度(単年度)の実績値  
 ●1段書きの場合  
 当該年度終了時点での実績値

NO.	分野	指標名	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理											進捗状況及び今後の取組方針について (令和2年度末の状況)	
					基準値	78.0 (下段は進捗率) 79.1 9.2%	R2	R3	R4	R5	R6(中間値)	R7	R8	R9	R10	R11	R12(目標値)		
1	1-1	自主防災組織の組織率(%)	地域の防災の要となる組織を立ち上げることで、地域の防災力の向上につながるため。	防災安全課	基準値	78.0												令和2年度において、2組織が新たに立上り、若干ではあるが組織率が向上した。引き続き未組織化の地区に声がけし、設立支援を行う。	
					中間値	84.0													
					目標値	90.0													
2	1-1	震災復興伝承館への来場者数(人)	平成30(2018)年度の閑上への震災学習の来訪人数10,021人を基準とし、その7割が伝承館に立ち寄ると想定。最終目標においては、全ての方が立ち寄ると想定している。	商工観光課	基準値	-												令和2年5月開館。想定を超える来客数となった。朝市やかわまちでらす閑上からの立ち寄り客が伸びた結果と思われる。引き続き多くの来館者に訪れてもらうことを目指しつつ、来館者の満足度向上にも努める。	
					中間値	7,000													
					目標値	10,000													
3	1-1	災害時に備えた食料・飲料・避難グッズなどを備蓄している人の割合(%)	基準値は、H30に実施した市民意識調査問3の「食料、飲料、避難グッズなどを備蓄している」と答えた市民の割合とする。	防災安全課	基準値	57.1	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。											市民防災マニュアルや地区防災マニュアルに備蓄の必要性を記載し、また防災講話などにおいても参加者に対して日頃の備えを推奨した。今後も機会を捉えて防災意識の高揚を図る。	
					中間値	60.0													
					目標値	65.0													
4	1-2	備蓄食料・飲料水の備蓄率(%)	災害への備えとして備蓄が必要であり、全壊・大規模半壊・帰宅困難者11,000人分の3日間の食料等を備蓄する。基準値は、11,000食/66,000食×100=16.66%≒17.0%	防災安全課	基準値	17.0												名取市災害用備蓄食料・飲料水の備蓄計画に基づき備蓄を進めている状況。今後も計画的に備蓄を進める。	
					中間値	100.0													
					目標値	100.0													
5	1-2	全管路耐震率(水道)(%)	管路全延長:461,888m H30までの耐震管路更新延長:104,662m 残非耐震管路延長:357,226m 年耐震管更新延長:年間1,786m	水道事業所	基準値	22.7												災害に強い水道の実現と安全・安心で良質な水の安定供給に向けて、計画的に管路更新を実施してきた。その結果、令和2年度末の全管路耐震率は26.6%となった。引き続き更新計画に基づき管路の耐震化を進める。	
					中間値	25.0													
					目標値	27.3													
6	1-2	応急資機材の整備箇所(箇所数)	すべての指定避難所に応急資機材一式の導入を図るもの。公的機関のほかに民間施設もあり、民間施設へも応急資機材の導入を促進していく。	防災安全課	基準値	29												令和元年東日本台風を教訓として、浸水・土砂災害等被害が予想される避難所の見直しを行ったことにより、指定避難所が28箇所に変更された。そのうち27箇所については導入済みである。	
					中間値	35													
					目標値	35													
7	1-3	消防水利の整備率(%)	消火栓及び防火水槽の整備を進めていく必要があるため、指標に設定した。(1%の数値を上げるには閑散地区に水道管の敷設や防火水槽の設置が必要となる) 現有数/基準数1,144基	消防本部	基準値	75.8												令和元年度に消防水利の基準数の見直しを実施したことで基準数が1,261基に変更となる。令和2年度末で現有数969基であり、今後未設置地区への整備を視野に入れ、指標値の向上を図る。	
					中間値	76.2													
					目標値	77.0													
8	1-3	救命講習普及に伴う受講者数(人)	市民相互の救助活動による救命率の向上等につながることから、救命講習受講者数の増加を図る必要があるため指標に設定した。 ・年間人口の約1%の受講者設定 ・年間780名程度の受講者を設定	消防本部	基準値	19,002												令和2年度はコロナウイルス感染症拡大に伴い、講習会を中止としていた時期があったが、今後は感染防止策を徹底し、実施していく計画である。	
					中間値	25,000													
					目標値	29,000													
9	1-3	住宅用火災警報器の設置率(条例適合率)(%)	火災予防対策を推進していくため、主要施策においても設置促進に向けた取組を推進することを位置付けているため指標に設定した。	消防本部	基準値	61.0												令和2年度は、前年度調査結果69%を8.9%上回る結果となった。今後も広報誌等へ定期的に掲載し、さらなる向上を目指す。	
					中間値	70.0													
					目標値	80.0													
10	1-4	街路灯設置箇所数(箇所)【累計】	交通安全・防犯対策という面で街路灯の設置は有効であることから指標に設定した。考え方は、年度末における東北電力契約箇所数とした。(第五次長総時における数値設定の考え方を踏襲している。)	土木課	基準値	6,053												令和2年度については、前年度より61基契約数が増えた。今後についても、危険箇所に対し、街路灯の設置を進める。	
					中間値	6,333													
					目標値	6,573													

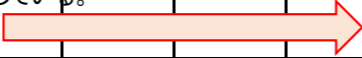
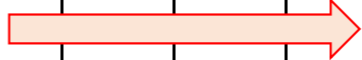
NO.	分野	指標名	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理										進捗状況及び今後の取組方針について (令和2年度末の状況)	
							R2	R3	R4	R5	R6(中間値)	R7	R8	R9	R10	R11		R12(目標値)
11	1-4	防犯対策に関する市民の満足度(%)	基準値は市民意識調査の「満足している」「どちらかといえば満足している」の割合とし、目標値として50%とする。中間値は、基準値と目標値の中間を指標と設定した。	防災安全課	基準値	24.5	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。 											令和元年度より防犯カメラ設置事業補助金を実施している。令和2年度の実績は2団体(3台)。また、市内各地区防犯協会、名取市防犯協議会等と連携を図り、防犯対策に関する啓発活動などを行っている。今後も引き続き市民が安全で安心して暮らせる地域づくりを目指して取り組む。
					中間値	35.0												
					目標値	50.0												
12	1-4	交通事故(人身)発生件数(件)	交通事故の発生件数を減少させることが安全対策につながるため指標に設定する。中間で実績値の10%減最終で20%減を目標に設定した。	防災安全課	基準値	330	(下段は進捗率) 184											令和2年度の交通事故発生件数は184件と目標値を達成する結果となった。交通事故は毎年減少傾向にあり、今後もさらなる減少に向かって交通安全運動を展開する。
					中間値	250												
					目標値	220		132.7%										
13	1-5	消費者学習講座の受講者(人)	消費者教育又は被害事例、被害防止策等を周知していくための取組として消費者学習講座は有効であり、その受講者が増加することで被害にあう市民の減少が期待できることから指標とした。年度ごとに受講者を増加させる指標とする。	市民協働課	基準値	535	284											コロナの影響で多人数による講座が出来なくなったことから、「少人数・短時間でも対応可能」に考え方を転換して講座のPRに努めた結果、基準値の半数を超える受講者の確保ができた。
					中間値	600												
					目標値	650		-218.3%										

NO.	分野	指標名	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理												進捗状況及び今後の取組方針について (令和2年度末の状況)
							R2	R3	R4	R5	R6(中間値)	R7	R8	R9	R10	R11	R12(目標値)		
14	2-1	国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率(%)	第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)における目標値60%を達成できるよう施策を展開していくため60%の最終目標を設定した。	保健センター 保険年金課	基準値	48.7	(下段は進捗率) 40.3											新型コロナウイルス感染症の影響により、実施時期が変更。会場も制限をかけ感染対策を行いながら実施した。また個別健診は昨年度より実施期間を長くし、全体的には受診率は低下したものの、個別健診の受診率は増加した。令和3年度は、追加健診を個別健診でも行い(11月1か月間)、感染対策を継続しながら実施する。	
					中間値	60.0													
					目標値	60.0		-74.3%											
15	2-1	国民健康保険被保険者の特定保健指導実施率(%)	第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)における目標値65%を達成できるよう施策を展開していくため65%の最終目標を設定した。	保健センター 保険年金課	基準値	46.9	37.5											新型コロナウイルス感染症の影響から健診期間が遅れたことにより、最終評価(3~6か月後)が年度内にできず、実施率が低下した。R3年度は新たに健診会場で初回面接分割実施を取り入れることで多くの方に特定保健指導が行えるよう体制を構築する。	
					中間値	65.0													
					目標値	65.0		-51.9%											
16	2-1	メタボリックシンドローム該当予備群の割合(%)	第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)における目標値に合わせそれ以上該当が増えないようにする意味で指標を設定している。	保健センター	基準値	33.6	36.8											メタボリックシンドローム該当・予備群は増えており、全国と比較しても高い状況。引き続き、血管内皮障害や大きな病気につながる前の予防的視点で保健指導に取り組む。	
					中間値	27.3													
					目標値	27.3		-50.8%											
17	2-1	肺がん検診受診率(%)	がん検診の受診率向上により、早期発見・早期治療につなげ死亡率の低下につながるよう指標に設定。死亡率の高い肺がんを指標に設定。最終目標の50.0%は国の計画である第3期がん対策推進基本計画に合わせて設定している。	保健センター	基準値	37.1	24.3											新型コロナウイルス感染症の影響で、実施時期が遅期となったことや受診控えもあったためか、受診率が減少した。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を継続し実施する。	
					中間値	50.0													
					目標値	50.0		-99.2%											
18	2-1	大腸がん検診受診率(%)	がん検診の受診率向上により、早期発見・早期治療につなげ死亡率の低下につながるよう指標に設定。数あるがん検診の中から、死亡率の高い大腸がんを指標に設定。最終目標の50.0%は国の計画である第3期がん対策推進基本計画に合わせて設定している。	保健センター	基準値	40.3	35.3											新型コロナウイルス感染症の影響で、実施時期が遅期となったことや受診控えもあったためか、受診率が減少した。令和3年度は通常どおり、胃がん検診や特定健診の日程と合わせて実施し、受診率向上に努める。	
					中間値	50.0													
					目標値	50.0		-51.5%											
19	2-1	自殺死亡率(10万人対)	自殺対策計画に併せた指標設定とし、自殺対策計画においては、過去5年平均を算出し指標としている。算出方法は、自殺者数/人口×100,000	保健センター	基準値	22.1	18.9											自殺死亡率は震災が影響し平成25~27年は高かった。その後各年でみると下がってきており、数値は県・全国平均に近づいてきたが、まだ高い状況である。今後コロナ禍による生活困窮や孤独等の影響が懸念されるため、関係機関と課題を共有し対策を検討していく。	
					中間値	16.4													
					目標値	15.8		50.8%											
20	2-2	定期予防接種率(%)	感染症のまん延予防の観点から、各予防接種の平均を指標と設定した。目標値においては、各予防接種の指針において95%を目標値に掲げられていることから、それにあわせ95%と設定した。	保健センター	基準値	94.0	93.8											新型コロナウイルス感染症の不安から接種控えをすることのないよう周知していたため、接種率を維持することができた。 * 子宮頸がん予防・高齢者肺炎球菌・高齢者インフルエンザ・成人男性風しん予防接種を除く	
					中間値	95.0													
					目標値	95.0		-20.0%											
21	2-2	医療体制の充実に関する市民の満足度(%)	基準値は、H30(2018)年実施の市民満足度調査の結果としている。11年間において、満足度10%向上を目指し、中間値は、基準値より5%向上で、28.5%×1.05=29.9%(小数点2位以下四捨五入)と設定。目標値は基準値より10%向上で、28.5%×1.1=31.4%(小数点2位以下四捨五入)と設定。	保健センター	基準値	28.5	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。											医療体制の充実・向上につながるよう地域医療と連携を密にする。	
					中間値	29.9													
					目標値	31.4													
22	2-3	地域共生社会の実現には、住民と行政の協力が必要であると考えた住民の割合(%)	令和元年度策定の地域福祉計画の市民アンケートの調査結果を指標に設定。基準値は、その回答結果。この指標の住民割合を上げることが、地域共生社会の実現に近づくと想定し設定している。	社会福祉課	基準値	57.9	第二次地域福祉計画の中間で予定する市民アンケート調査で確認することとしている。											令和2年度は、コロナ禍の状況であり、また、人員体制不足のため指標を上げるための活動を実施できなかった。	
					中間値	70.0													
					目標値	80.0													
23	2-4	待機児童数(人)	地方創生総合戦略においても待機児童数の減少を数値目標に掲げており、待機児童が解消されていないことから、待機児童数の減少を成果指標に設定する。	こども支援課	基準値	43	24											令和元年度4月1日から令和2年度4月1日にかけて、「キッズ第二みたぞの園(定員19人)」及び「ぶらむ保育園館腰(定員数90人)」が新規開園したこともあり、前年と比較すると待機児童が減少した。一方で、就学前児童数は既に減少に転じているが、保育所入所申込者数は、核家族化の進展、共働き世帯の増加、幼児教育・保育の無償化スタート等により依然として増加(令和元年度4月1日申込者数1,591人⇒令和2年度4月1日申込者数1,691人(+100人))し続けており、このことがなかなか待機児童の解消に至らない要因であると捉えているが、どの時点で上げ止まりになるのか見通せない状況にある。令和4年度4月1日からは開上わかば認定こども園(保育定員33人)が新設されることにより更なる定員数の増加が図られる。それまでは、入所調整作業の中で可能な限り待機児童の減少に努めていくこととし、開上わかば認定こども園新設後の待機児童数の状況を見て、引き続き待機児童数が増加傾向にある場合は、新たな対応策を講じていく。	
					中間値	0													
					目標値	0		44.2%											

NO.	分野	指標名	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理										進捗状況及び今後の取組方針について (令和2年度末の状況)		
							R2	R3	R4	R5	R6(中間値)	R7	R8	R9	R10	R11		R12(目標値)	
24	2-4	乳児のいる家庭の実態把握(生後4か月まで)(%)	虐待予防・早期発見の視点から生後4ヶ月の新生児に全数把握をすることで、適切な支援につなげる。目標としては現状維持。	保健センター	基準値	100	97.9											令和2年度は新型コロナウイルス感染症が心配との理由で訪問に行けないケースがあった。訪問できなかったケースについては、その後の3か月児健康診査において全数把握している。今後は全数訪問できるよう工夫して対応する。	
					中間値	100													
					目標値	100		-2.1%											
25	2-4	子育てに関する市民の満足度(%)	子育て支援については、数値が表れにくい分野であり、成果指標として満足度とすることが分かりやすい。基準値はH30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	こども支援課	基準値	17.2	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。											令和2年度は、令和6年度までを計画期間とする「第2期名取市子ども・子育て支援事業計画」の初年度であった。新型コロナウイルス感染症の影響で、一部の事業が中止又は縮小された。令和3年度は、子ども・子育て支援事業の現在の利用状況、潜在的な利用希望を含めたニーズを把握しながら計画の進捗状況を管理し、子育てに関する市民の満足度向上につなげていく。	
					中間値	20.0													
					目標値	25.0													
26	2-4	中高生が保育所などにおいて、子どもとふれあう機会(人)	中学生の職場体験を受け入れた生徒の人数を指標とする。H29の実績継続して受け入れ、次代の親の育成支援に努めていく。	こども支援課	基準値	150	0											新型コロナウイルス感染症の影響により中学校からの依頼がなく受入実績がなかった。令和3年度は、感染症対策に留意して受入れ可能な環境を整えていく。	
					中間値	150													
					目標値	150		-											
27	2-5	子どもの貧困対策計画の策定及び推進	関係機関の連携体制を構築する手段のひとつとして計画を策定し、推進する。	こども支援課	基準値	—	未策定											令和4年度～着手予定	
					中間値	策定、推進													
					目標値	推進													
28	2-6	通いの場、高齢者ふれあいサロンあがらいいん、高齢者生きがいづくり支援事業への参加者数(人)	介護予防に取り組んでいる人数を把握できることから、指標に設定した。	介護長寿課	基準値	20,279	22,630											通いの場(20団体、うち新規1団体)、高齢者ふれあいサロン(11団体)、高齢者生きがいづくり支援事業(19団体)の支援を行った。	
					中間値	27,855													
					目標値	33,270		18.1%											
29	2-7	障害福祉サービスの利用者の一般就労移行者数(人)	市民意識調査の結果においても、障がい者福祉に力を入れるべき施策として、一般就労への移行支援等があげられている。障がい者が一般就労へ多く移行することで、障がい者への理解や地域全体で支え合う意識の醸成につながるものであるため指標に設定した。	社会福祉課	基準値	5	12											令和2年度は具体的な取組はないが、今後は先進事例や他市町村の取組について調査・研究を行う。	
					中間値	8													
					目標値	10		140.0%											
30	2-7	障がい者福祉の充実に関する市民の満足度(%)	障がい者福祉については、数値が表れにくい分野であり、成果指標として満足度とすることが分かりやすい。基準値はH30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。11年間で満足度を20%増加を目指すもの。	社会福祉課	基準値	12.6	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。											令和3年3月に「名取市障害者計画(R3年度～R8年度)」を策定した。策定にあたり市民アンケートを実施し、これまでの市の取り組み結果と課題を分析した。市民の声を反映した障害者計画に掲げる指標の達成に向け各種施策に取り組む。	
					中間値	13.8													
					目標値	15.0													
31	2-8	国民健康保険税の現年度収納率(%)	国民健康保険制度の円滑な運営を図るには、保険料を納めてもらう必要があるため指標に設定。H30宮城県国民健康保険運営方針に基づく目標値の維持を目標とする。	保険年金課	基準値	92.55	94.47											督促催告書の発送により、早期納付に向けて取り組んだ。滞納整理については、新型コロナウイルス感染症の影響により上半期は控えていたものの、下半期は感染対策を行いながら実施するとともに、個々の事情を勘案しながら納付計画の相談に応じた。適正な滞納整理の実施、口座振替の推進、納付環境の整備等を今後も継続していき、収納率向上に取り組む。	
					中間値	92.55													
					目標値	92.55		102.1%											
32	2-8	後期高齢者医療保険料の現年度収納率(%)	後期高齢者医療制度の円滑な運営を図るには、保険料を納めてもらう必要があるため指標に設定。景気動向等により目標値を設定することは困難であるが、広域連合から示されている数値の維持を目標値と設定。	保険年金課	基準値	99.45	99.63											督促催告書の発送、個別訪問について、令和2年度上半期は新型コロナウイルス感染症の影響により控え、下半期は感染対策を行いながら個別訪問を行った。個々の事情を勘案しながら納付計画の相談に乗る等、保険料の納付に結び付ける対策を取った。今後、普通徴収の積極的な口座振替勧奨、感染対策を行いながらの個別訪問を行い、納付に結びつける対策を取り、収納率向上に取り組む。	
					中間値	99.45													
					目標値	99.45		100.2%											
33	2-8	介護保険料収納率(%)	介護保険制度の円滑な運営を図るには、保険料を納めてもらう必要があるため指標に設定。介護保険制度についての普及啓発に努める。	介護長寿課	基準値	99.15	99.49											収納率向上のために継続して督促催告書の送付及び電話・訪問による収納勧奨を行う。	
					中間値	99.40													
					目標値	99.50		97.1%											

NO.	分野	指標名	指標設定の考え方	担当課	成果指標	進捗管理												進捗状況及び今後の取組方針について (令和2年度末の状況)
						R2	R3	R4	R5	R6(中間値)	R7	R8	R9	R10	R11	R12(目標値)		
34	3-1	認定農業者数(経営体)【累計】	認定農業者を指標として設定し、農業従事者を確保する施策を展開していく。(基準値は平成30年度末)	農林水産課	基準値	153	138 (△15)											複数の認定農業者が組織化を図ることにより、個人の認定農業者数の減、高齢による認定農業者の未更新による減のため、認定農業者数は減少した。今後の農業施策及び「認定新規就農者から認定農業者への切替者」数の増加を視野に入れた経営体支援策を推進する。
					中間値	179												
					目標値	180		-55.6%										
35	3-1	担い手への農地の集積面積(ha)	担い手が耕作している農地(自作、賃貸借、作業委託)の面積合計を指標として設定。(基準値は平成30年度末)	農林水産課	基準値	1,565	1,597											リタイア、経営転換等が増加傾向にあり、地域の担い手への集積は、進むものと考えられる。今後、作業の効率化を図る取り組みや担い手・経営体の育成支援策を進める。
					中間値	1,630												
					目標値	1,700		23.7%										
36	3-1	ほ場整備率(%)	市内の田を30ha区画以上で整備した割合を指標として設定。	農林水産課	基準値	77	78											震災復興に係る大区画ほ場整備事業も令和2年度で面的な整備は終了し、今後、新規のほ場整備実施予定区域が2か所あることから整備割合も増加するものと判断する。
					中間値	79												
					目標値	81		25.0%										
37	3-1	農業法人(法人数)【累計】	組織体制の強化を課題としてあげていることから、指標として設定し、安定的で収益性の高い農業経営を支援及び担い手の確保をできる施策を展開していく。(基準値は平成30年度末)	農林水産課	基準値	10	12 (2)											複数の認定農業者が組織化する状況や一戸一法人(家族経営等)化、そして新規法人が農業へ参入する状況が今後も増加していくものと判断する。
					中間値	11												
					目標値	12		100.0%										
38	3-2	林業就業者数(人)【累計】	適正に管理されていない森林の適正な管理を市で行うようなり、林業に従事する方々を増やしていきたいと考えていることから、指標に設定。林業就業者については、基準値は、H27の国勢調査としている。	農林水産課	基準値	6	6 (0)											就業に繋がるよう、宮城県等が実施する就業支援制度等の情報収集を行う。
					中間値	7												
					目標値	8		0.0%										
39	3-3	閉上漁港水揚高(t)	1年間の水揚高の総数量を指標とする。県統計においては暦年となっているためあわせることとする。現状としては、試験養殖をしているわかめくらいしかないので、最終目標としては、わかめ分を約30%増と見込み250tとした。	農林水産課	基準値	182	201											貝毒発生の影響により、操業日数が少なかったのに加え、新型コロナウイルス感染症により首都圏飲食店営業の休止の影響を受けたが、引き続き水揚高が向上する支援に努める。
					中間値	220												
					目標値	250		27.9%										
40	3-4	製造品出荷額(年額)(億円)	地域経済の活性度を計る上では、売上額をもって判断するのが妥当であり、製造品出荷額がそれに相当するものであるため指標に設定した。基準値の2割増を目標に設定している。基準はH29工業統計調査(市町村別より)	商工観光課	基準値	897	942											令和2年度の金額は令和元年度実績。今後、新型コロナウイルス感染症の影響により減少が想定されるが名取市商工会と連携し各種支援施策の周知に努める。
					中間値	986												
					目標値	1,076		25.1%										
41	3-4	新製品の開発件数(件)【累計】	基準値は地方創生総合戦略の進捗状況に合わせた。毎年1件の新商品開発を見込み算出している。	商工観光課	基準値	7	8 (1)											令和2年度は補助金制度の活用を推進すべく、最大3か年度補助金交付を可能となる旨要綱改正を行った。後は、制度活用に繋げるべく教育機関及び企業への呼びかけや産学のマッチングも検討する。
					中間値	14												
					目標値	20		7.7%										
42	3-5	観光客入込数(人)	かわまちでらす閉上、トレイルセンター、サイクルスポーツセンターの想定実績を加味して推計している。	商工観光課	基準値	833,556	1,165,700											新型コロナウイルス感染症の影響下ではあるが、影響は比較的少なく順調に推移した。目標達成に向けて観光施策を展開する。
					中間値	1,320,000												
					目標値	1,400,000		58.6%										
43	3-6	新規の起業件数(件)【累計】	働く場の創出を重点政策に掲げていることから、チャレンジショップやその他の制度の活用による新規起業数を指標に設定。目標については、チャレンジショップ事業が毎年1件活用されると想定し算出している。	商工観光課	基準値	1	7 (2)											令和2年度は空き店舗活用支援事業で2件の応募。令和3年度で対象エリアの拡大と補助額の増額をしたので名取市商工会と連携し周知に努める。
					中間値	8												
					目標値	14		46.2%										
44	3-6	企業立地件数(名取市企業立地促進条例に基づく指定企業許可件数)(件)【累計】	市内への企業立地が進むことで、地域雇用が確保され、市内への居住者も増加し、地域経済の活性化につながるため指標に設定した。	商工観光課	基準値	33	37 (2)											閉上東地区の誘致が堅調であるほか、今後愛島西部工業団地(第2期)の造成・誘致も本格的となることから、引き続き地域雇用につながる企業の誘致に努める。
					中間値	41												
					目標値	49		25.0%										
45	3-7	立地企業の被雇用者数(人)【累計】	市内への企業立地が進むことで、地域雇用が確保され、市内への居住者も増加し、地域経済の活性化につながるため指標に設定した。H20基準値からH29基準値の増加数の5%程度の伸び率で算出。	商工観光課	基準値	1,454	1,874 (420)											前回調査時(令和元年度)の数値で既に中間値に達していることから、引き続き目標値に達するよう地域雇用につながる企業の誘致に努める。
					中間値	1,724												
					目標値	1,994		77.8%										

NO.	分野	指標名	指標設定の考え方	担当課	成果指標	進捗管理											進捗状況及び今後の取組方針について (令和2年度末の状況)	
						R2	R3	R4	R5	R6(中間値)	R7	R8	R9	R10	R11	R12(目標値)		
46	4-1	国語・算数の授業内容がよく分かると答えた児童の割合(小学6年生)(%)	全国学力・学習状況調査の児童自らが答える質問事項において、よく分かると答えた児童の割合を指標とする。 【H30実績】国語:87.4%、算数86.3%の平均を基準値に設定。令和2年度までに5%増を目指す。中間年度は、2%増で算出。	学校教育課	基準値	86.9	中止											新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、全国学力・学習状況調査が中止された。次年度以降、まずは88.60%を目標に基礎・基本の定着に努めるとともに、児童がわかる授業づくりに取り組む。
					中間値	88.6												
					目標値	91.2												
47	4-1	国語・数学・英語の授業内容がよく分かると答えた児童の割合(中学3年生)(%)	全国学力・学習状況調査の生徒自らが答える質問事項において、よく分かると答えた生徒の割合を指標とする。 【H30実績】国語:79.6%、数学:72.1%、英語:68.2%の平均を基準値に設定。令和2年度までに5%増を目指す。中間年度は、2%増で算出。	学校教育課	基準値	73.3	中止											新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、全国学力・学習状況調査が中止された。次年度以降、まずは74.80%を目標に基礎・基本の定着に努めるとともに、生徒がわかる授業づくりに取り組む。
					中間値	74.8												
					目標値	77.0												
48	4-2	校舎等大規模改造実施学校(校)【累計】	老朽化した校舎等の大規模改造の実施した校数を指標とした。	教育総務課	基準値	7	8 (1)											令和元～2年度に増田中学校の校舎大規模改造工事を実施した。令和3～4年度に第一中学校の整備に取り組む。
					中間値	10												
					目標値	14		14.3%										
49	4-2	学校教育環境の充実に関する市民の満足度(%)	満足度を指標とすることで、学校教育環境の施策全体での評価が見えるため指標として設定。基準値は、平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。目標値については、小幅な変化になることを想定し、30%と設定した。中間値はその中間で設定。	学校教育課	基準値	27.4	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。											次年度以降、まずは28.70%を目標に各学校にて教育活動に取り組む。
					中間値	28.7												
					目標値	30.0												
50	4-3	地域学校協働活動への参加者数(人)	各小・中学校区に地域学校協働本部を設置し、地域学校協働活動を推進していく。モデル事業において1本部につき100人程度の登録であったため、中間年度は1,500人、最終目標としてはその1.5倍増の2,250人とした。	生涯学習課	基準値	—	2,432											令和2年度は9学校区で実施した。令和3年度から、より多くの市民に周知するため、広報などより毎月活動の取り組みのお知らせをスタートした。引き続き、活動の周知を広げ、多くの参加者を募る。
					中間値	1,500												
					目標値	2,250		108.1%										
51	4-4	市民一人当たりの貸出冊数(冊)	図書館の利用状況を評価するために一般的に用いられる指標は「貸出冊数」である。人口当たりに換算して設定。基準値は、個人貸出冊数309,587冊÷78,299人(3月末人口)÷4冊。	生涯学習課	基準値	4	5.7											市民一人当たりの貸出冊数は、個人貸出冊数453,745冊÷名取市人口79,459人=5.7冊であった。今後も、市民のニーズに沿った多様な学習情報の提供に取り組む。
					中間値	5.8												
					目標値	6		85.0%										
52	4-4	マナビ講師等派遣数(回)	学習機会の拡充と支援を計る上で、マナビ講師等の派遣数が適していることから、第五次長総に引き続き成果指標に設定する。基準値が156回(出前講座105回+マナビ講師派遣51回)最終目標としては、基準値の50%増を目標に設定。中間目標はその半分で設定。	生涯学習課	基準値	156	82											令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数が大幅に減少した。今後、新しい生活様式に応じた学びが推進されるよう、一層のPRと内容の工夫を図る。
					中間値	200												
					目標値	250		-78.7%										
53	4-4	生涯学習経験者の割合(%)	生涯学習計画と同様の指標を設定。基準値は生涯学習振興計画策定に当たり実施した市民意識調査の結果とした。最終目標を基準値の10%増とし、中間目標はその半分で設定した。	生涯学習課	基準値	64.5	生涯学習振興計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。											公民館での生涯学習事業の実施や出前講座、マナビ講師の派遣等を行い、市民が生涯学習に取り組むきっかけづくりを図った。また今後は、マナビガイドブックを作成し各公民館等への配布や、市のホームページに生涯学習マナビ通信を掲載するなど、生涯学習に対する啓発を行う。
					中間値	67.0												
					目標値	70.0												
54	4-5	社会体育事業の対象者及び参加者数(人)	参加者数でスポーツの振興及び普及が図られたと捉えることができるため指標とした。年間200人の増加と見込み指標を設定した。	文化・スポーツ課	基準値	9,414	5,537											令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ニュースポーツ普及、トータルスポーツ大会、10,000人寒稽古が中止となり大幅減となった。各事業では、道具の消毒や競技中の接触を減らす等、スポーツ庁等の示すガイドライン遵守に努め、感染拡大防止に努める。
					中間値	11,000												
					目標値	12,000		-149.9%										
55	4-5	体育施設利用者数(人)	体育施設利用者数でスポーツの振興及び普及が図られたと捉えることができるため指標とした。年間3,000人の増加と見込み指標を設定した。	文化・スポーツ課	基準値	416,557	260,707											令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響や地震被害により臨時休館となったことから、前年度から大幅な減少となった。今後も、感染防止対策を行いながら、利用者増を目指す。
					中間値	440,000												
					目標値	455,000		-405.4%										
56	4-5	スポーツ環境の充実に関する市民の満足度(%)	満足度を指標とすることで、スポーツ分野の施策全体での評価が見えるため指標として設定した。基準値は平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	文化・スポーツ課	基準値	15.3	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。											名取市体育協会とも連携を図りながら、スポーツ教室等を引き続き実施し、市民がスポーツに触れる機会やスポーツを通じて健康づくり、コミュニティ活動の活発化を図る。
					中間値	20.0												
					目標値	22.0												
57	4-5	体育協会加盟者数(人)【累計】	体育協会加盟者数でスポーツ振興及び普及が図られたと捉えることができるため指標とした。年間100人の増加と見込み指標を設定した。	文化・スポーツ課	基準値	5,072	5,681 (50)											令和2年度は、前年度比で若干増加している。名取市体育協会を通じ、各単位協会への活動を支援し、会員の拡充に努める。
					中間値	5,600												
					目標値	6,100		59.2%										

NO.	分野	指標名	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理										進捗状況及び今後の取組方針について (令和2年度末の状況)								
							R2	R3	R4	R5	R6(中間値)	R7	R8	R9	R10	R11		R12(目標値)							
58	4-6	文化協会加入団体数(団体) 【累計】	文化協会加入団体数で文化振興及び普及が図られたと捉えることができるため指標とした。 生涯学習振興計画においても同様の指標を設定している。	文化・スポーツ課	基準値	35	32 (△1)																		新規加入もあったが、高齢化等を理由により退会する団体も多く、団体数増には繋がらなかった。広報やHPに協会の活動や加入案内を掲載し、引き続き周知に努める。
					中間値	40																			
					目標値	45																			
59	4-6	文化会館自主事業入場者数(人)	文化会館自主事業入場者数で文化の振興及び普及が図られたと捉えることができるため指標とした。 あくまで、主催・共催事業の入場者のみ掲載する。	文化・スポーツ課	基準値	29,850	(下段は進捗率) 6,105																		新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止や入場者を制限して実施することとなり、入場者数は大幅減となった。今後は感染防止を徹底し、文化芸術に触れる機会の創出に努める。
					中間値	30,000																			
					目標値	31,000																			
60	4-6	文化・芸術環境の充実に関する市民の満足度(%)	満足度を指標とすることで、文化振興分野の施策全体での評価が見えるため指標として設定した。 基準値は平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	文化・スポーツ課	基準値	18.8	第六次長期総合計画の中間で予定 する市民意識調査で確認すること している。 																		文化会館を拠点に、今後も市民が文化芸術活動に取り組める環境づくりに努める。
					中間値	20.0																			
					目標値	21.0																			
61	4-7	指定(登録)文化財の件数(件) 【累計】	指定・登録文化財は歴史文化遺産の保存・継承の基本的な施策であり、その件数の拡充は定量的な把握が可能であるため指標とした。 中間では基準値の5%増、最終では基準値の10%増とした。	文化・スポーツ課	基準値	56	56 (0)																		令和2年度では、具体的な指定・登録された物件は無いが、その候補となり得る2件の物件について情報収集を行っている。また、市所有の資料の内、令和2年度には有形民俗文化財(民具関係)のデータベース作成も実施しており、令和3年度以降も他分野のデータベース作成等に取り組みながら、候補資料の選定や情報収集に努める。
					中間値	59																			
					目標値	62																			
62	4-7	文化財資料等を活用した人数及び事業への参加者数(人)	資料閲覧・借出者数+施設利用者数+文化財案内等の事業参加者数とする。 基準値は1,672人-歴史展来場者数1,042人を引いた人数と設定し、中間では基準値の5%、最終は10%増とした。	文化・スポーツ課	基準値	630	339																		令和2年度の実績は、資料調査・利用等が計9人、施設利用者数(資料館を除く)330人の計339人であった。施設利用では新型コロナウイルス感染症や、屋根葺き替え工事実施に伴い旧中沢家住宅の一般開放日数が120日から79日間へ短縮した関係で実績値は大きく下回った。令和4年4月から通常開放を再開予定であり、より積極的な活用促進に努める。
					中間値	662																			
					目標値	693																			
63	4-7	歴史文化遺産の保護に関する市民の満足度(%)	満足度を指標とすることで、歴史文化遺産の施策全体での評価が見えるため指標として設定した。 基準値は平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	文化・スポーツ課	基準値	15.6	第六次長期総合計画の中間で予定 する市民意識調査で確認すること している。 																		令和2年度には、文化財保護の拠点施設として歴史民俗資料館を開館し、常設的な展示や、各種講座、学習活動、体験学習、イベント等を実施し、市民満足度の向上に努めた。令和3年度には、文化財保護のマスタープランの具現化を図る「文化財保存活用地域計画」を策定し、確かな保存・活用の推進を図り、市民満足度の向上に繋げる。
					中間値	16.4																			
					目標値	17.2																			
64	4-7	歴史民俗資料館の利用者数(人)	歴史文化遺産の保存・活用の拠点として整備を行う施設であり、その利用者数の多寡が総合的な満足度へ反映されていくと想定し指標とした。	文化・スポーツ課	基準値	—	7,591																		当館は令和2年5月31日に開館したが、新型コロナウイルス感染症で約1か月開館が遅れ、予定していた小学校訪問学習等の中止やイベント実施、ボランティア活動等にも大きく影響し、来館者数は目標値を大きく下回った。今後も様々な工夫を行い、市民等の参加協力を得ながら、積極的な活用促進に努め利用者の増加に努める。
					中間値	21,420																			
					目標値	22,440																			
65	4-7	歴史や文化財に関するボランティアガイド数(人)	歴史文化遺産の保存・活用の満足度の向上のためには、市民参加や地域との連携が重要である。H30よりその育成をしていることから指標として設定した。中間においては基準値の10%、最終では10%増とした。	文化・スポーツ課	基準値	—	19																		令和2年度当初は、前年度から募集・研修を続けてきた22名のボランティアがいたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動開始時期や活動内容も大きな制限を受け、3名の方が退会し19名となった。秋以降はイベントや体験学習補助等の活動にも参加しており、今後も積極的な参加協力を促していく。 また、令和3年度には新規募集や研修講座、自主組織立ち上げ等を予定しており、活動が充実するよう進める。
					中間値	27																			
					目標値	30																			

NO.	分野	指標名	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理										進捗状況及び今後の取組方針について (令和2年度末の状況)
							R2	R3	R4	R5	R6(中間値)	R7	R8	R9	R10	R11	
66	5-1	自然とふれあえるイベントの参加者数(%)	自然観察会や自然観察イベントへの参加を通して自然環境に興味を持つ市民を捉えることにつながるため指標とした。 中間値で基準値の10%増、目標値では基準値の20%増を目指す。	グリーン対策課	基準値	100	86.7										令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により予定した4観察会のうち、2観察会が中止となり、イベントへの参加者数は39名、基準年度となる平成29年度(45名)との比較では86.7%となった。
					中間値	110											
					目標値	120		-66.5%									
67	5-1	自然保護に関する市民の満足度(%)	満足度を指標とすることで、自然環境の施策全体での評価が見えるため指標として設定した。 基準値は平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	グリーン対策課	基準値	29.1	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。										観察会などを通じ、市の自然環境の状態の把握に努めているが令和2年度はコロナの影響により実施できなかった。令和3年度はトレイルセンターの植樹を行い、緑化事業を実施する。
					中間値	31.6											
					目標値	34.1											
68	5-2	市関連施設からの温室効果ガス排出量(t)	地球温暖化防止の観点から「名取市温室効果ガスの排出の抑制等のための実行計画」において、市関連施設からの温室効果ガスの排出量を策定し、その削減を目標とする。	グリーン対策課	基準値	6,383	6,247										サイクルスポーツセンター、歴史民俗資料館など施設数の増加、さらには学校へのエアコン設置、新型コロナウイルス感染症による夏休み短縮に伴う授業時間変更、教室の換気などにより、令和元年度と比較すると温室効果ガス排出量が増えたが、基準値よりは低い数値となっている。
					中間値	6,026											
					目標値	5,689		19.6%									
69	5-2	1人1日当たりのごみの排出量(g)	ごみの減量化と資源循環型社会形成の観点から、ごみ排出量の削減目標を設定している。岩沼東部環境センターに搬入されるごみのうち「もえるごみ」「有害危険ごみ」「粗大ごみ」の合計を人口で除した数値とする。 1人1日当たり2gの減少を目標とする。	グリーン対策課	基準値	767	770										令和2年度においては、770gと前年度の769gを1gほど上回ったものであるが、コロナ禍の中、日中在宅者が増加し、一人当たりのごみ量が増加したものと分析している。
					中間値	750											
					目標値	740		-11.1%									
70	5-2	家庭用使用済み天ぷら油(植物油性廃食油)の回収量(l)	ごみの減量化と資源循環型社会形成の観点から、天ぷら油の回収目標を設定している。回収した油は、BDFに精製し、事業者のトラックやバスの燃料として再利用している。	グリーン対策課	基準値	13,383	14,834										令和2年度においては、14,834と前年度の14,154から4.8%ほど増加した。年度途中から設置店舗を1ヶ所増加したことが影響したものと分析している。一方、愛島地区内で店舗の閉鎖に伴い、同地区内の別店舗に移設したが回収量が減少しており、周知を図る。
					中間値	18,633											
					目標値	23,133		14.9%									
71	5-3	公害防止などの環境保全に関する市民の満足度(%)	数値で表すことが困難な施策内容であることから、満足度を成果指標に設定する。 基準値は、平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	グリーン対策課	基準値	29.1	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。										公害等の情報があれば、現場確認を行い、公害等の発生元が判明する場合は、発生元に対し注意喚起等を行う。
					中間値	31.6											
					目標値	34.1											
72	5-4	中心市街地における居住人口(人)【累計】	中心市街地の利便性や魅力的な空間を享受できるような居住空間の設定を引き続き第六次長総においても継続する。 田高町西第1、田高町東第1、北町1、北町2、本町1、本町2、北町3、村区の行政区の合計を居住人口と設定した。	都市計画課	基準値	4,929	5,018 (65)										名取まちづくり株式会社とともに中心市街地の活性化のための施策について検討してきた。令和3年度～令和4年度においては名取駅東地区にぎわい再生計画を策定し、より利便性が高く魅力的な居住空間となる様な施策の検討を行う。
					中間値	5,000											
					目標値	5,100		52.0%									
73	5-4	防災広場を活用したイベントの参加人数(人)	中心市街地の賑わい創出に向けた施策を展開する上での指標として設定する。 などポップ、ぶちぶちファーム、神社deパザール、地元町内会夏祭り(ふれあい夕涼み)、光のストリートアート展の参加人数を想定している。	都市計画課	基準値	1,300	960										新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、夏祭りが中止、光のストリートアート展が縮小しての開催となったことから減少した。しかしながら、商店街の店主を中心にイベントが行われるなど、新しい動きが出てきている。
					中間値	1,500											
					目標値	1,700		-85.0%									
74	5-4	空き家の利活用(戸)【累計】	空き家調査の実施により、市としての空家数を把握し、その利活用数を指標とする。 H27調査における迷惑空き家31戸年間1戸ずつの利活用を目指すもの。	なとりの魅力創生課	基準値	—	—										令和2年度に空家実態調査を実施。また、令和3年度の「名取市空家等対策計画」の策定に向けて「名取市空家等の適切な管理及び有効活用の促進に関する条例」を施行(令和3年4月1日)すると共に、空家等対策協議会設立に向けた準備等を行った。
					中間値	5											
					目標値	11											
75	5-5	市道改良率(%)	狭隘道路解消など生活道路の整備指標として適している。 R元年の道路整備事業費(単独)をベースとして未改良の要望路線の計画期間内での改良延長を算出し改良率に換算した。	土木課	基準値	81.0	82.02										令和2年度は二間橋線、梶前線、太夫宮下線、余方大沢線の整備が完了し、改良率は前年度末に対し0.39%上昇したが、単年度計画値0.6%を下回っている。近年局所的な交差点改良などの要望も増加しており、道路改良率の伸びが鈍化している。引き続き、現在事業中路線の早期完成を図る。
					中間値	85.2											
					目標値	88.8		13.1%									
76	5-5	市道舗装率(%)	未舗装道路解消など生活道路の整備指標として適している。 未舗装路線のうち、道路改良又は舗装要望路線延長を抽出した。	土木課	基準値	95.3	95.47										令和2年度は前年度に対し舗装率が0.09%上昇し、単年度計画値の0.05%を上回った。順調に推移しているが、復興関連事業が完了したことから今後鈍化が予想され、未舗装解消事業に取り組む必要がある。
					中間値	95.7											
					目標値	96.0		24.3%									
77	5-5	都市計画道路の整備率(%)	幹線道路の整備指標として適している。 事業決定済み路線に加え、愛島東部線、館腰駅箱塚線を全線改良したときの整備率として算出した。	土木課	基準値	87.4	91.2										令和2年度は閑上地区土地区画整理事業が完了し、区域内の名取駅閑上線、仙台閑上線が整備済みとなったことから、整備延長が2.93km増加した。 令和3年度中に熊野堂柳生線、植松田高線が開通し、中間目標値を達成する見通しである。
					中間値	91.9											
					目標値	94.6		52.8%									



NO.	分野	指標名	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理												進捗状況及び今後の取組方針について (令和2年度末の状況)
							R2	R3	R4	R5	R6(中間値)	R7	R8	R9	R10	R11	R12(目標値)		
78	5-5	歩道のバリアフリー整備延長(m)【累計】	歩道拡幅事業として、名取が丘中央大通り線と植松田高線の整備延長が整備指標として適している。補助事業の年度毎実績及び将来伸び率を加えて算出した。	土木課	基準値	3,800	4,361 (71)												社会資本整備総合交付金を活用し、整備を実施しており、令和2年度については、歩道整備をL=71m実施した。今後についても、国庫補助の財源確保につとめ、歩道整備を進める。
					中間値	4,740													
					目標値	5,840		27.5%											
79	5-5	JR館腰駅バリアフリー化	JR館腰駅のバリアフリー化において、バリアフリー化が整備完了を最終目標とする。	政策企画課	基準値	未整備	(下段は進捗率) 未整備												JR館腰駅のバリアフリー化においては、国・JR・名取市の三位一体で整備を行うこととしており、令和2年度においてはJR側から整備内容及びスケジュールについて説明を受け、令和3年度当初予算においてJRに対する補助金について債務負担行為を設定した。工事については、JR側で令和4年度内の事業完了を目指す。
					中間値	整備済													
					目標値	整備済													
80	5-5	市が主体となって実施する新たな公共交通に関する市民満足度(%)	基準値は、市民意識調査の「公共バスの充実」に関する満足度を設定している(「満足している」「どちらかといえば満足している」の合算)。中間値は、第六次長総において導入を予定している新たな公共交通体系を構築し、なとりん号と新たに導入する公共交通の満足度がどの程度高まったのか把握していく。	政策企画課 防災安全課	基準値	14.0	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。												現行の公共交通体系に関する市民ニーズや現状分析、事業者からのヒアリングにより課題の抽出を行い、新たな公共交通体系について検討を行った。令和3年度は、地域公共交通計画(案)の策定に向け、なとりん号の運行見直し(案)・新たな公共交通体系の実証実験運行計画(案)の策定に取り組む。
					中間値	30.0													
					目標値	50.0													
81	5-5	市が主体となって実施する新たな公共交通の利用者数(人)	基準値は、平成29年度なとりん号の乗車人数としている。中間値は、なとりん号と新たな公共交通の利用者をカウント、基準値よりも利用者の増加を目指していく。	政策企画課	基準値	401,649	376,816												上述のとおり。なお、令和2年度実績は「なとりん号」のみの乗車実績であり、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は減少している。
					中間値	497,000													
					目標値	527,000		-19.8%											
82	5-6	仙台国際空港(株)が実施する出前講座・施設見学の名取市関係団体利用者数(人)	空港が市民に親しまれる施設となるよう、仙台国際空港(株)が開催するイベント情報を市民への周知を行う施策を展開していくことから、指標として設定した。	政策企画課	基準値	619	-												令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防・拡大防止のため、出前講座・施設見学が休止となった。新型コロナウイルス感染症が収束し、再開する際には仙台国際空港(株)と連携し、市民に対し周知を行い、空港が親しまれる存在となるよう取り組む。
					中間値	700													
					目標値	800													
83	5-6	空港支援機能施設の誘致数(件)	空港支援機能施設の誘致の実施主体である県へ働きかけていくことから成果指標に設定した。	政策企画課	基準値	—	0												令和2年度に「仙台空港の運用時間24時間化に関する覚書」を締結した。今後は、空港支援機能施設の誘致について宮城県と連携し、誘致に向け取り組む。
					中間値	1													
					目標値	2		0%											
84	5-7	上水道管路の更新率(%)	H30までの耐震管路更新延長:104,662m 残非耐震管路延長:357,226m 年耐震管更新延長:年間1,786m ※1-2災害に強い防災基盤の整備と同様の指標。	水道事業所	基準値	22.7	26.6												災害に強い水道の実現と安全・安心で良質な水の安定供給に向けて、計画的に管路更新を実施してきた。その結果、令和2年度末の全管路耐震率は26.6%となった。引続き更新計画に基づき管路の耐震化を進める。
					中間値	25.0													
					目標値	27.3		84.8%											
85	5-7	下水道の水洗化率(%)	行政人口における水洗化(公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽)人口の割合を示す。 令和元年7月末時点 行政人口:78,971人 水洗化人口:76,336人	下水道課	基準値	96.7	97.3												公共下水道事業及び農業集落排水事業の施設整備は終了しており、今後は未接続の世帯に早期接続の勧奨をしていく。また、合併処理浄化槽の地区においては、汲み取り式便所や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切替を勧奨し、水洗化を図る。
					中間値	97.8													
					目標値	99.0		26.1%											
86	5-8	公園・緑地の整備に関する市民の満足度(%)	地域住民のニーズに応じた公園づくりに対応するため。基準値は、平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	都市計画課	基準値	34.2	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。												公園施設及び緑地利用者の安心・安全な環境を保持するため、地区毎に必要な日常的な保全管理を行っており、市民の満足度が向上するよう継続して取り組む。
					中間値	35.0													
					目標値	37.0													

NO.	分野	指標名	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理										進捗状況及び今後の取組方針について (令和2年度末の状況)	
					基準値	中間値	R2	R3	R4	R5	R6(中間値)	R7	R8	R9	R10	R11		R12(目標値)
87	6-1	ホームページアクセス件数(件/日)	市政に関する関心度とホームページアクセス件数は相関関係にあることから第五次長総に引き続き指標とするもの。直近において、年間100万件のアクセスを120万件に増加させる 目標値:1,200,000件/365日≒3,300件/日 中間値:1,100,000件/365日≒3,000件/日	なとりの魅力創生課	基準値	2,800	6,200											新型コロナウイルスの市内感染者関係や給付金関連ページの閲覧数が、年度当初において特に高く、全体の件数の増加につながっている。特にコロナ関連はトップページの重要なお知らせに配置し、スライド画像も作成。市民が知りたい情報について、探しやすい仕組みづくりを行った。今後も市民目線で見やすいホームページ作成のため、ページ見本の作成等を行い、全庁的に共有を図る。
					中間値	3,000												
					目標値	3,300		680.0%										
88	6-1	SNSフォロワー数(件)【累計】	SNSを通じて本市のイベント等の情報発信をする上で、フォロワー数を指標として設定。仙台市15,505件、気仙沼市10,001件、岩沼市48件を除く県内10市の平均を指標に設定。	なとりの魅力創生課	基準値	450	765 (224)											令和2年度からイベント情報及び行政情報以外にも市内の魅力情報の発信及び新型コロナ関連情報の発信ツールとしても使用。今後も継続的に情報発信ツールとして運用するとともに新たなツールについても検討する。
					中間値	900												
					目標値	1,400		33.2%										
89	6-1	移住支援金支給世帯数(世帯)【累計】	移住支援金の支給世帯数は把握可能であるため。1年当たり1世帯で積算。	なとりの魅力創生課	基準値	—	0 (0)											商工会の協力を得て移住支援金対象企業の登録に関するチラシを会員に配布し周知した。宮城県が主催するオンライン移住フェアへの参加や、名取市の住みよさを紹介する動画を作成し名取市HP上で公開することにより、対外的なPR活動を行った。今後も令和2年度と同様の取り組みを行うと共に、名取市HPの移住情報の内容を充実させること、更には令和3年度に制作する名取市PR動画を活用し、効果的なPRと発信に取り組んでいきたいと考えている。
					中間値	5												
					目標値	11		0.0%										
90	6-2	市民公益活動団体数(団体)【累計】	団体数の増加は、市民の市民活動への参加意欲のほか、市民活動の広がりが増えるため。	市民協働課	基準値	103	113 (2)											令和2年度の新規団体登録は8団体(任意団体6、NPO法人2)となっている。登録解除団体は6団体(任意団体6)のため、前年度と比較して2団体の増。
					中間値	110												
					目標値	120		58.8%										
91	6-2	市内のNPO法人数(法人)【累計】	法人数の増加は、市民の市民活動への参加意欲のほか、市民活動の広がりが増えるため。	市民協働課	基準値	17	20 (2)											令和2年度の新規NPO法人登録は、2団体。前年度と比較して2団体増加。
					中間値	18												
					目標値	20		100.0%										
92	6-2	市民活動支援センター利用者数(人)	利用者数を指標とすることにより市民活動の広がりが把握できるため。	市民協働課	基準値	18,089	9,561											令和2年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館や施設の利用制限・一部閉鎖の期間があったため、来館者・利用者が激減した。
					中間値	19,500												
					目標値	19,750		-513.4%										
93	6-2	市民協働提案事業実施数(件)	第五次長総においては、市民協働提案事業の実績の延数としていたが、第六次長総においては、単年度の応募者数とする。予算枠が5団体となっていることから、予算枠を拡大する必要がある。	市民協働課	基準値	4	5											令和2年度は入門コース5団体枠、行政課題型2団体枠の予算を得て取り組んだ。なおR2年度に実施するはずだった協働提案事業は、コロナの影響で1年延期してR3年度に実施する運びとなった。結果的に、R2年度に実施し、実績をあげた団体は入門コース5団体である。
					中間値	9												
					目標値	10		16.7%										
94	6-2	子どもファンド事業応募者数(件)	市民協働提案事業と同様に指標に設定する。	市民協働課	基準値	—	11											10団体分の予算枠において、応募があったのは11団体であるが、審査の結果、採択されたのは10団体であった。今後も周知に努める。
					中間値	13												
					目標値	15		73.3%										
95	6-3	市内在住外国人の満足度(%)	平成29(2017)年度に実施した、市内在住外国人アンケートの結果を満足度と捉えた。基準値48.6%を元に最終目標において、20%増加を目指し60%と設定した。中間年度においては、約10%増を見込んでいる。	なとりの魅力創生課	基準値	48.6	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。											令和2年度においてはアンケートの実施はなし。名取市国際交流大綱(改訂版)の目標年次が令和12年度となっていることから、大綱の進捗確認に合わせてアンケートの実施についても併せて検討を行う。
					中間値	54.0												
					目標値	60.0												
96	6-4	市の審議会等委員における女性の登用率(%)	男女共同参画計画にも指標として設定していることから継続して設定する。全国的にも調査指標となっている。	市民協働課	基準値	28.9	31.8											あて職による委員登用は別として、各部署ともに女性委員登用促進を意識して取り組んでいる。男女共同参画計画の進捗管理の中で、今後も各部署への啓発を継続する。
					中間値	30.0												
					目標値	35.0		47.5%										
97	6-5	先進的なサービスの社会実験・実証実験の実施数(件)【累計】	民間事業者が実施する先進的なサービスの社会実験・実証実験を積極的に受け入れるため指標に設定。第六次長総策定時点において、具体的なモデル事業等の想定はないが、中間までに社会実験等を1件導入し、先進的な取り組みの導入を目指していく。	政策企画課	基準値	—	0 (0)											令和2年度は民間事業者が実施する先進的なサービスの社会実験・実証実験の具体的な取り組みはないが、今後は先進事例や他市町村の取り組みを注視し、民間事業者との連携による先進的な取り組みの導入を目指す。
					中間値	1												
					目標値	3		0%										
98	6-6	広告掲載や施設命名権による歳入額(千円)	歳入額を指標とする。現状実施しているパーナード広告や封筒作成等の効果額:1年あたり約2,800千円 ・11年後の効果額 54,833千円 ・新規項目による効果額 10,000千円見込み 54,833千円+10,000千円≒目標値65,000千円 ※中間年は(30,800+10,000)×1/2≒20,000千円で見込む	政策企画課	基準値	24,033	32,993 (3,050)											市HPにおけるパーナード広告や封筒作成等に取り組んでおり、今後も継続していく。また、新たな取り組みの導入について検討を行い、更なる財源の確保に取り組む。
					中間値	44,000												
					目標値	65,000		22%										